

事業名
4款 1項 4目
株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償

(単位：千円)

区分	事項	限度額	令和2年度以降の債務保証等予定額	
			期間	金額
新規設定 又は変更後	株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償(令和2年度)	6,005,000 市中の金融機関等が株式会社横浜国際平和会議場に融資することにより損失を生じた場合の補償	令和2年度から 令和9年度まで	6,005,000
変更前	株式会社横浜国際平和会議場のための損失補償(令和元年度)	6,795,000 市中の金融機関等が株式会社横浜国際平和会議場に融資することにより損失を生じた場合の補償	令和元年度から 令和9年度まで	6,795,000
増△減		△ 790,000		△ 790,000

限度額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	限度額	令和3年度	令和4年度
	6,180,000	7,785,000	7,585,000		5,215,000	4,425,000

【団体の基礎的情報】

① (団体の概要)

<事業目的> 国際・国内会議及び学術等各種催物、国内外商品等の見本市、展示会を企画、誘致及び開催する。
 <設立> 昭和62年6月3日
 <基本金> 7,565,000千円 (うち、横浜市出資額：4,100,000千円 出資割合：24.4%)

<業務内容> 国際・国内会議及び文化・学術等催物や展示会の企画、誘致及び開催
 ・会議施設・展示場・宿泊施設及びこれらに付帯する施設の賃貸及び管理運営

② (団体の経営状況)

H30年度決算 営業収益 8,289,746千円 営業費用 7,432,629千円 営業利益 857,117千円

【損失補償の内容】

③ (借入金の使途) ※借換えの場合はその旨を記載してください

平成25年度から令和12年度に大規模改修工事を実施し、その費用として借入を行う。

④ (損失補償を行う理由・必要性)

大規模改修工事着手に際し、パシフィコ横浜のあり方検討を行った結果、改修工事はパシフィコが金融機関から借入を行って実施し、市は必要な支援を行うことを意思決定している。

⑤ (損失補償額の積算根拠)

<令和2年度資金計画>

	金額	説明
借入金返済額	790,000	大規模改修借入金(H25～29年実行分)の元金返済予定額
大規模改修工事		会議センター設備分を中心とする大規模改修工事
資金需要額	0	自己資金にて対応する
損失補償額	0	

	令和元年度分	令和2年度分	令和2年度設定額
設定限度額	6,795,000	6,005,000	6,005,000
借入(予定)額	6,795,000	6,005,000	
当該年度末までの償還額	790,000	790,000	
未償還残高	6,005,000	5,215,000	

⑥ (対象債務の返済の見通しとその確実性)

<本団体に係る損失補償の設定状況>

(単位：千円)

NO	設定年度	最終年度	限度額	左のうち借入済額または借入見込額		返済の原資等
				令和元年度末までの償還見込額	令和2年度以降の損失補償等予定額	
1	H11年度	R6年度	3,431,000	3,040,000	3,040,000	0
2	H12年度	R2年度	2,063,000	2,060,000	2,060,000	0
3	H13年度	R3年度	3,125,000	3,120,000	3,120,000	0
4	H22年度	R12年度	2,167,000	2,061,000	2,028,500	32,500
5	H25年度	R9年度	1,500,000	1,500,000	565,000	935,000
6	H26年度	R9年度	1,000,000	1,000,000	250,000	750,000
7	H27年度	R9年度	1,800,000	1,800,000	360,000	1,440,000
8	H28年度	R9年度	1,900,000	1,900,000	380,000	1,520,000
9	H29年度	R9年度	1,700,000	1,700,000	340,000	1,360,000
				⑦ 合計		6,037,500

<対象債務の返済の見通し(各年度の償還額)>

(単位：千円)

NO	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度～	合計
1											0
2											0
3											0
4	32,500	0									32,500
5	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	130,000	55,000	0			935,000
6	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	50,000	0	0	750,000
7	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	180,000	0	0	1,440,000
8	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000	190,000	0	0	1,520,000
9	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	0	0	1,360,000
計	822,500	790,000	790,000	790,000	790,000	770,000	695,000	590,000	0	0	6,037,500

<団体の担保能力及び担保設定状況> ※令和元年度末見込

①担保物件 建物(会議センター、展示ホール、ホテル)

29,623,800千円 ① 前期末-償却費(原価のみ)

② 当抵権設定状況

(単位：千円)

借入先	当初設定額	返済額	残高	説明
政策投資銀行	24,770,000	24,770,000	0	会議センター、展示ホール(I・II期)、ホテル
産業活性化資金等	21,809,000	21,278,460	530,540	会議センター、展示ホール(I・II期)、ホテル
民間金融機関	8,000,000	735,000	7,265,000	会議センター、展示ホール(I・II期)、ホテル
計	54,579,000	46,783,460	7,795,540	… ②

担保余力(①-②)×70% 15,279,782千円

★借入金金融機関の担保評価については未確認

⑧ (健全性化法の規定に基づき将来負担比率に参入される一般会計等負担見込額)

6,005,000 × 10% = 600,500
 損失補償設定額 H30算定率 一般会計等負担見込額

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 澤田 賢一	係長 川口 真慈	係長 村井 友美
--------------------	----------	----------	----------